

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年12月

(平成21年11月末調査)

平成21年12月15日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

| | | 実 数 | 前年同期比 | |
|---------------------------|-------------|-------------|-----------|----------|
| 有効求人倍率【10月】 | 諏訪公共職業安定所管内 | 0.44倍 | △0.67ポイント | |
| 手形交換高【11月】 (諏訪手形交換所扱) | 枚 数 | 8,868枚 | +1,221枚 | |
| | 金 額 | 9,485百万円 | +185百万円 | |
| | うち不渡り | 枚 数 | 15枚 | +15枚 |
| | 発生状況 | 金 額 | 46,552千円 | 46,552千円 |
| 電力使用量【11月】 (中電諏訪営業所管内) | 電灯電力計 | 52,943 MWh | △0.2% | |
| | 高压電力計 | 94,237 MWh | △6.6% | |
| | 合 計 | 147,180 MWh | △4.4% | |
| 車庫証明取扱件数【11月】(諏訪地方合計) | | 988件 | +13.3% | |
| 新設住宅着工件数【21年4月～10月】(諏訪管内) | | 695戸 | △28.9% | |

□本文は、当金庫取引先約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注は、企業により区々であるが前年同月並みとする企業が多い。ただし、前年11月は既にリーマン・ショック後で受注は大幅に減少しており、足元の受注水準は弱含みのまま推移している。工作機械・専用機は、設備投資の再開の動きは鈍く地域企業の受注は大幅に減少したまま推移している。デジタルカメラ関連の下請企業は、親会社により区々であるが年内の受注見通しは比較的安定している。金型では、デジタル家電や自動車の新モデルの向けの動きが出始めたとの声がかかる。

地域製造業の状況は、緩やかに受注が回復しており前年と同水準とする企業、昨年同月よりさらに減少しているとする企業、10月までは回復基調であったものの11月に入り受注が弱含んだとする企業など区々となっている。また、企業内でも部門ごとのラインの稼働状況に偏りがあり、対応に苦慮しているとの声がかかる。先行きについては、経済対策による需要の先食いの懸念や不安定な為替相場、またクリスマスや中国の春節の消費動向を含め不安要素が多数あり、年明けの二番底を懸念する声も多くなっている。

●商業

諏訪地方の11月の天候は、低気圧や前線が通過し、雨や曇りの日が多くなった。

諏訪地域の車庫証明件数（軽自動車除く）は988台で昨年11月の落ち込みの影響もあるが、前年同月比+166台（+13.3%）と14ヵ月振りにプラスに転じた。衣料品は保温性の高いインナーなど動きの良い商品があるものの、コート類などの冬物商品の動きは弱く総体の売上は前年より10～20%程度減少している店舗が多い。食料品は、引き続き商品単価の低下傾向が続いており、大手スーパーによる円高還元セールの実施等から価格競争が一層激しくなっている。お歳暮ギフトでは、法人・個人ともに贈答件数や購入金額は減少している。

●観光・サービス業

例年 11 月は秋と冬の観光シーズンの狭間で幾分低調な月であるが、今年は景況の悪化に加え新型インフルエンザへの警戒から団体旅行や学生の合宿等の取り止めの動きが顕著であり、諏訪地域のホテル旅館の宿泊者数は前年に比べ減少している。

上諏訪温泉の宿泊客数は前年同月比△15%程度減少しており、高原の観光地も雨の多い不純な天候から入り込み客は前年に比べ減少した。下諏訪温泉では七五三の会食等で日帰り客は堅調であったものの、宿泊客数は前年に比べ大きく減少している。

飲食店等も含め忘年会の予約は週末の特定日に集中しており、また、小グループが主体で法人の大口宴会が減少している。

●建設業

市町村の 11 月の発注工事は、建築工事 6 件 84 百万円、土木工事・下水道工事 71 件 325 百万円、その他工事 19 件 113 百万円の合計 96 件 522 百万円で、前年同月比で件数は 32 件、金額は 237 百万円の増加となった。

県関係の 11 月の公共工事（地元業者受注分）は 15 件、契約金額 102 百万円で、平成 21 年 4 月～11 月の累計契約は 121 件 2,877 百万円と前年同期累計比で△22 件、△385 百万円の減少となっている。今年度は、「平成 21 年 8・8 局地豪雨災害（諏訪市）」に係る復旧工事以外の大口案件は見込まれていない。

民間工事は、諏訪地方の 10 月の新設住宅着工件数は 64 戸で前年同月比では△59 戸（△48.0%）の大幅な減少となった。利用関係別では、「持家」が前年同月比△26 戸減少の 55 戸、「貸家」が前年同月比△35 戸減少の 6 戸、「分譲」が前年同月比+2 戸増加の 3 戸となっている。

●雇用

諏訪地域の 10 月の有効求人倍率は、前年同月を△0.67 ポイント下回り 0.44 倍と対前年比で 25 ヶ月連続して低下している。また、長野県の同倍率は 0.43 倍、全国の同倍率は 0.44 倍となっている。

諏訪地域の 10 月の新規求人（全数）は 955 人で前年同月比△417 人（△30.4%）の減少、新規求職者数は 1,197 人で前年同月比+203 人（+20.4%）の増加となっている。

また、1 件 10 人以上の人員整理は 2 件 110 人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 91 人と前年同月より 45 人減少、前月より 46 人減少となった。

業種別動向

1. 電気機械

| | |
|----------------|----------------------------|
| プリント基板 | 携帯電話向けなどで受注が増加している企業がみられる。 |
| コンデンサー | 受注は減少している。 |
| プリンター | アジア向けのサーマルプリンター関連に繁忙感がある。 |
| コンタクター・ リレー | 受注は比較的安定している。 |

2. 輸送用機械

| | |
|-----------------------|---|
| 自動車 | 企業により区々であるが、緩やかに受注が回復しており前年同月と同水準とする企業が多い。一部のメーカーでは、大幅なコストダウン要請がきかれる。 |
| ピストンリング・ シリンダーライナー | 下請企業の受注は大幅に減少したまま推移している。 |
| 船外機 | 足元の生産状況は低調であるも、アジア向けは回復傾向である。 |

3. 一般機械

| | |
|----------|---|
| 工作機械・専用機 | 設備投資再開の動きは鈍く、地域企業の受注は大幅に減少したまま推移している。 |
| 搬送用機械 | 受注は弱含みで推移している。 |
| 金型 | デジタル家電や自動車の新モデルの向けの動きが出始めたとの声がかかれる。 |
| ダイカスト | 企業により生産状況は区々となっており、加工製品によっては繁忙感があるとする企業もみられる。 |

4. カメラ・レンズ

| | |
|---------|---|
| デジタルカメラ | 全国のデジタルカメラの10月の生産台数は1,428万台で前月比15.3%増加、前年同月比4.2%増加となっている。10月の出荷台数は国内出荷77万台、海外出荷1,337万台で、出荷台数全体では前月比11.7%増加、前年同月比4.2%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 親会社により区々であるが、年内の下請企業の受注見通しは比較的安定している。アジア向けの機種は堅調であるが、円高の影響から米国向けの機種は弱含んでいる。 |
| プロジェクター | 海外生産が主流で国内では試作が中心である。アメリカの教育機関での需要が旺盛である。 |
| レンズ | 受注は弱含んでいる。 |

5. 織 維

ニット

専門店や百貨店等での売れ行きは低調であり、春物のサンプル生産等の注文も弱含んでいる。

6. 食 品

寒天

生産時期を前に準備が進んでいる。問屋向けの出荷は前年並みに推移しており、個人向けは観光施設等での売れ行きが良い。

味噌

需要期を迎え、家庭向けの出荷は比較的堅調である。

7. 製 材

諏訪地方の11月の木造住宅着工件数は62戸で、前年同月と比べ△29戸の減少となった。木材、建材の動きは低調になっている。

8. 建 設

公共工事

11月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所8件、林道治山工事関係5件、農地整備課2件の合計15件、契約金額102百万円となっている。平成21年4月～11月の累計契約は121件2,877百万円と前年同期累計比で△22件、△385百万円の減少となった。今年度は、「平成21年8・8局地豪雨災害（諏訪市）」に係る復旧工事以外の大口案件は見込まれていない。

市町村の11月の発注工事は、建築工事6件84百万円、土木工事・下水道工事71件325百万円、その他工事19件113百万円の合計96件522百万円で、前年同月比で件数は32件、金額は237百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の10月の新設住宅着工件数は64戸で前年同月比では△59戸（△48.0%）の大幅な減少となった。利用関係別では、「持家」が前年同月比△26戸減少の55戸、「貸家」が前年同月比△35戸減少の6戸、「分譲」が前年同月比+2戸増加の3戸となっている。

なお、長野県全体の10月の新設住宅着工戸数は978戸で、前年同月比△31.6%の減少と12ヶ月連続で減少している。

9. 商 業

諏訪地方の11月の天候は、低気圧や前線が通過し、雨や曇りの日が多くなった。一時的に寒気が南下し冷え込んだ日があったものの、月の平均気温は平年より高かった。

諏訪地域の車庫証明件数（軽自動車除く）は988台で昨年11月の落ち込みの影響もあるが、前年同月比+166台（+13.3%）と14ヵ月振りにプラスに転じた。衣料品や食料品に対する消費者の低価格志向の流れは強まっており、各店舗とも利益の確保に苦慮している。

お歳暮ギフトでは、法人・個人ともに贈答件数や購入金額は減少している。

衣料 気温が平年より高く、コート類などの冬物商品の動きは弱かった。保温性の高いインナーなど動きの良い商品があるものの、総体の売上は前年より10～20%程度減少している店舗が多い。

食料品 引き続き来店客数、購入点数は維持している店舗が多いものの、商品単価の低下傾向が続いている。大手スーパーによる円高還元セールの実施等から価格競争が一層激しくなっている。

家電製品 薄型テレビの動きは堅調であるものの、エコポイントの延長発表によるボーナス商戦での消費者動向の変化を危惧する声がかかれる。

自動車 諏訪地域の11月の車庫証明件数（軽自動車除く）は988台で前年同月比+116台（+13.3%）と平成21年9月から14ヵ月振りに前年を上回った。

ホームセンター 生活関連商品の動きは堅調であるが、低価格品へのシフトがかかれる。

10. 観 光・サービス業

例年11月は秋と冬の観光シーズンの狭間で幾分低調な月であるが、今年は景況の悪化に加え新型インフルエンザへの警戒から団体旅行や学生の合宿等の取り止めの動きが顕著であり、諏訪地域のホテル旅館の宿泊者数は前年に比べ減少している。

飲食店等も含め忘年会の予約は週末の特定日に集中しており、また、小グループが主体で法人の大口宴会が減少している。

上諏訪温泉 11月のホテル旅館の宿泊客数は総体で前年同月比△15%程度の減少となった。団体客の減少からWebによる個人客の集客に力を入れている施設が多く、価格競争から宿泊単価の下落がみられる。

蓼科・白樺湖・車山方面 雨の多い不順な天候から入り込み客は前年に比べ減少した。ホテル旅館の宿泊客数も前年同月比△15～20%程度減少したところが多い。E T C 休日割引の効果は薄いという声が多い。

下諏訪温泉 七五三の会食等で日帰り客は堅調であったものの、宿泊客数は前年に比べ大きく減少している旅館が多い。

諏訪大社 上社・下社を合わせた11月の参拝者数は約51千人と、前年同月比約2千人の増加となった。七五三で賑わい、また上社ではE T C 休日割引の効果がみられる。

